

塾業界に吹き込む、新しい風の予感

* 塾女研究会 趣旨

- ・女性の「仕事人」としての意識向上
- ・数字意識、業績向上力の養成
- ・活躍する女性ロールモデルの紹介
- ・学習塾、教育業界のトレンド研究
- ・学習塾、教育業界のトレンド研究
- ・女性が活躍できる組織づくり研究 など



㈱ ウィザス・北島あすか氏



㈱ WiShip・武田星子氏

7月1日(日)、雨の京都に一人、また一人と集う才媛たち。しかも、みな塾業界従事者——。ここで行われるのは、その名も「塾女(ジユクジヨ)研究会」。女性塾人だけが集まるという何とも興味深い勉強会だ。この研究会、印象的

女性ももっと輝ける業界に

全国の学習塾就労者は約三十三万人。正確なデータはないものの、うち約三割が女性と言われる。しかし、塾業界はまだまだ男社会の色が濃い。そのキャリアアデヴァイン、結婚・出産を見据え

た労働環境整備も不十分で、女性が自らの将来に夢を描きながら働ける環境とは言い難い状況だ。

しかし、熱意ある有能な女性塾人は少なくない。彼女らが塾業界でもっと輝くためには、何が必要なのか。問題視されながらも置き去りにされてきたこの課題に、

またWiShipのブランド(コンサル)としても活躍中の現役「塾女」だ。

塾女研究会は、その武田氏が「この世界に入ったときから、ずっとつくりたかった」と語る夢の結晶。その趣旨に賛同した塾女たちが次々と集まり、記念すべき第一回会合と相成った。

本音もチラリ? 塾女トークセッション

研究会は二部構成。第一部では「活躍する塾女研究」と称して、ゲストと武田氏とのトークセッションが行われた。その意図について武田

女性塾人、集合よ! 第一回「塾女研究会」潜入レポート

いたかのように粋な計らいを見せたという。何とも心温まる話だ。その経験をもとに、氏は塾女たちにこんな愛あるエールを送った。「落ち込んだときは無理をせず、肩の荷をひとつ下ろしてみて。ほかに、女性が塾で働くための考え方について意見を交わすなど、トークは大いに盛り上がった。

自分を乱されない「コントロール力」を

第二部は「塾女力講義」。講師は武田氏、開口一番「仕事で結果を出せる人、出せない人の違いは何でしょう?」と問いかけた。ざわめきが漏れるなか示したその答えは「コントロール力」。女性として、仕事人としての自分に関わる数字・環境・人物からの影響を自制する力のことだ。

例として、氏は自らの業績不振期に言及。不振の理由を「恋をしていたから」と明かし、「まさに何も手に



意識の高い塾女たちが多数集った会場

つかなくない。武田氏が伝えたいのは「他者に心を振り回されず、関わり方をコントロールできる力が大事。それは恋人も上司・同僚、生徒に対して同じ」だということだ。

「色恋ごとき」という言葉。かれ。夜は遅く、休日も少ない。周囲はほとんど男性。そんな特殊な環境の中で、今までの女性塾人たちは働いてきた。このようなことを話題にできる場ができた。けれども、革命的進歩なのだ。質疑応答でも、女性らしい質問が飛び交う。「男性上司の上手な扱い方を教えてください」との質問に、会場は大いに沸いた。

氏は「他塾で活躍する女性との接点は多くありません。この機会を通じて、素敵な塾女の『生き方』に触れられたら」と語る。

そこで招かれた初ゲストは、関西の大手㈱ウィザスで、同社初の女性エリア長にまで登り詰めた驚異のスーパー塾女・北島あすか氏。颯爽と登壇するその姿に、集まった塾女たちからも羨望の眼差しが注がれる。

しかし北島氏は、偉ぶることなく「今日はワンピースを着て来ちゃいました」と、さっそく女子トークで場を沸かせる。こんな和やかな空気の掴み方も、女性